

都市再生整備計画 事後評価シート

まつしま・ひがしかわら
松島・東河原地区

平成22年12月

長野県箕輪町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	箕輪町		地区名	松島・東河原地区			面積	315.15ha	
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	957百万円	国費率	0.388			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		事業名 ・道路事業：町道6号線、町道54号線、町道357号線、町道900号線・地域生活基盤施設：地域交流広場・高次都市施設：地域交流センター							
			提案事業		・地域創造支援事業：箕輪消防署整備事業・事業活用調査：協働のまちづくり研究事業・まちづくり活動推進：防災コミュニティ推進事業							
	当初計画から削除した事業		基幹事業		道路事業町：道54号線		地域との話し合いにより、現在の状況で問題なしとのことにより削除		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業		なし							
	新たに追加した事業		基幹事業		・町道760号線、交差点改良、信号設置の地元要望により追加 ・町道6号・359号・371号線：文化交流ゾーンの回遊性の向上や人に優しいまちづくりのため追加		「生活道路利便性の満足度」の指標に関連するが、指標に影響なし					
提案事業			・事業活用調査：事後評価策定		事後評価の実施に伴い追加		指標等に影響なし					
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	-									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	自主防災組織数	団体	0	H16	15以上	H22	16	○	あり なし	「防災コミュニティ推進事業」の実施により、平成21年度末において、町内19区中、13区14組織が立ち上がり活動中であり、平成22年度においては残り2区2組織が立ち上げ中であり、目標値を達成見込み。	平成23年5月
	指標2	普通救命講習会受講者数	人	1,472	H15	2,672	H22	3,243	○	あり なし	「地域交流センター」の建設、「箕輪消防署整備事業」並びに上記「防災コミュニティ推進事業」の展開により、防災意識が高揚し、平成21年度末においての受講者数が増加し、3,243人である。既に目標値を達成できており、平成22年度を加えればさらに増加する見込みである。	平成23年5月
	指標3	NPO団体数	団体	3	H16	10	H22	5	△	あり なし	「協働のまちづくり研究事業」の実施により、若干の増加傾向であったが、その後の啓蒙や地域団体のNPOへの認証移行が思うように進まず、平成21年度末時点で「5団体」とどまっている。介護、教育団体を中心に認証数が増えているが一年以内の目標達成は厳しい。	平成23年5月
	指標4	避難路・避難所の整備率の増加	人	450	H17	600	H22	850	○	あり なし	「地域交流センター」の建設、「地域交流広場」の建設、「箕輪消防署整備事業」の展開により、平成21年度末において、防災計画計上されている収容人数が850人となり、目標値を達成した。	
指標5	生活道路利便性への満足度	ポイント	3.15	H17	3.50	H22	3.50	○	あり なし	「道路事業」の展開により、その満足度を測定するが、満足度調査については、次回平成23年度に行うこととなるため、平成20年度に実施した調査で、その満足度が目標値を上回り、「3.50」ポイントとなり、目標値を達成できている現状である。	平成23年6月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	社会教育登録団体数	団体	60	H17		67			それまでの文化センターの交流利用について、登録団体全てが使用することが出来なかったが、「地域交流センター」の整備により、利用機会が増え交流が活発化し、登録団体が増加した。	平成23年4月	
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	災害による経験をもとに交付金活用による事業展開により、地域住民、自主防災組織などの団体について、意識高揚が図れた。また「安全・安心なまちづくり」として、「防災・防犯」についても意識高揚が図られ、子供達に対する「見守り隊」の育成や現在、認証を目指している「セーフコミュニティ」の認証活動について、つながる展開となった。今後も「安全・安心なまちづくり」の取組みが見込まれる。											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況						今後の対応方針等
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-
	住民参加プロセス	進捗状況については、広報誌「広報みのわ」やケーブルテレビの町情報番組「もみじチャンネル」にて広報します。事後評価については、「協働のまちづくり事業」における調査や過去に実施した住民満足度調査結果と比較し、効果を検証します。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 今後も交付金活用による道路、施設等の活用状況などの広報に努めると共に、交付金事業に限らず住民認知に努める。
持続的なまちづくり体制の構築	地域交流センターの維持管理は、コミュニティ活性化の観点から住民団体へ委託する方針であり、今後他の公共施設の維持管理へ活かせる体制づくりを行う。また、地域交流センター内の多目的交流ルームでは、子どもからお年寄りまで集える空間づくりを行う。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 地域交流センターについては、稼働率も高く、子どもからお年寄りまで交流が出来るため、今後も住民主体で持続的に検討していく。また、今回実施できなかった、施設の「維持管理委託」については、受け皿となる団体等が見つからなかったため、その検討も引き続き実施していく。	

様式2-2 地区の概要

松島・東河原地区(長野県箕輪町) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	評価	数値	評価	数値	評価
大目標: 町の中心部である松島地区に求心性のあるアクセスしやすく快適で住みよい、防災拠点、交流拠点の形成をめざす。 目標1: 「災害に強いまちづくり」、「消防・救急・救助体制の強化」 目標2: 「住民自治の確立と協働の推進」 目標3: 「人にやさしい快適な生活道路の整備」	自主防災組織数	単位: 団体	0	H16	15以上	H22	16	H22
	普通救命講習会受講者数	単位: 人	1,472	H15	2,672	H22	3,243	H22
	NPO団体数	単位: 団体	3	H16	10	H22	5	H22
	避難路・避難所の整備率の増加	単位: 人	450	H17	600	H22	850	H22
	生活道路利便性への満足度	単位: ポイント	3.15	H17	3.50	H22	3.50	H22

地域交流センター

- 第2期事業(平成23年度以降) 町道302号線・町道53号線整備事業 「断続舗装を給び安心安全でアクセスできるまちづくり」
- 提案事業 防災コミュニティ推進事業
 - ・普通救命講習会等訓練事業
 - ・防災マップの作成等支援事業
 - ・コミュニティ防災教育・訓練事業
 - ・自主防災組織育成事業
 「安心安全なまちづくり」
- 関連事業 箕輪町公共施設耐震補強事業 「安心安全なまちづくり」
- 基幹事業 町道6号・359号・371号線整備事業 L=165m 交流広場整備 障害者誘導スロープ 「住民交流の促進」、「安心、安全、快適なまちづくり」
- 基幹事業 地域交流センター整備 「住民自治の確立と協働の推進」
- 提案事業 業務用防犯整備、既存消防施設解体 「安心安全なまちづくり」
- 関連事業 緊急消防援助隊整備整備事業 (防犯・防災力の強化)
- 基幹事業 町道6号線歩道橋整備事業 「安心、安全、快適に暮らせるまちづくり」
- 関連事業 箕輪中中学校耐震補強事業 「安心安全なまちづくり」
- 基幹事業 町道367号線改良・補修事業 L=250m 「歩行者が安心して安全に通行できるまちづくり」

凡例

- 区域エリア
- 道路 (改良前)
- 道路 (H15~H22)
- 道路 (H23以降)
- 生活道路整備ゾーン
- 地域交流センター
- 軽軌道

○第2期事業(平成23年度以降) 町道6号線橋脚補修整備事業(一部整備済) 「安心安全でアクセスできるまちづくり」

■基幹事業 町道6号線橋脚補修整備事業 L=200m 「安心安全でアクセスできるまちづくり」

○関連事業 工業用地造成事業 A=55,000㎡ 「創始と活力あふれるまちづくり」

■基幹事業 町道800号線改良事業 L=90m 「安心安全でアクセスできるまちづくり」

■基幹事業 町道760号線改良事業 A=398㎡ 「安心安全でアクセスできるまちづくり」

地域交流広場

町道6号・359号・371号線歩道

町道760号

町の課題の変化

町中心部の事業展開により、町役場を中心とした「社会教育文化ゾーン」における交流拠点が整備され、交流活動が活発化された。また、防災拠点としての施設整備も行われ町の「安全・安心」につなげることができた。それに伴い町中心部以外の地域においても、自主防災組織立ち上げに伴い、「安全・安心」につながる条件整備が必要であり、その整備が課題である。また、公共施設の耐震化について、補助事業、国の経済対策事業によって耐震化を図ってきたが、未だ耐震化されていない施設を残している。そのため、町の財政状況を鑑みながら、今後も継

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

■地域交流センター維持管理について: 事業展開により地域交流の場を提供でき、利用率も高く推移しているが、当初整備計画で掲げた「維持管理の住民団体への委託」については、未解決となっている。そのため、指定管理者制度なども念頭に置き、受け皿となるべき、住民団体の育成と委託に向けて進める必要がある。

■自主防災組織の活動について: 事業の実施に伴い立ち上げられた「自主防災組織」について、各区の役員が1年又は数年で入れ替わる現状の中で、継続的に活動でき、また防災意識の低下とならないよう広報活動及び自主防災組織への参加等